

第2回授業 テーマ：「人が想像できることは必ず実現できる」

実施日：令和元年6月29日(土)

実施場所：茨城大学人文社会科学部講義棟10番教室 受講生：127人

講師：荏原 充宏 先生（国立研究開発法人 物質・材料研究機構（NIMS））

授業内容等

想像力を膨らませ、どんなプラスチックがあれば病気が治せるかについて考える授業。プラスチックの新素材「スマートポリマー」を開発し、ガン治療や医療に応用できる研究をしている講師より、未来の医療材料（バイオマテリアル）の研究の取り組みや、病院で使われているプラスチック等についての分かりやすい授業でした。実験を行ったり、どのプラスチックがどの種類にあてはまるかのクイズ形式の授業も交え、子どもたちの興味関心を高めました。実際に医療の現場で使用しているプラスチックを見た子どもたちは、手触りを確かめながらどのように使用するのかを講師に熱心に質問していました。何よりも、「人が想像できることは必ず実現できる」という荏原先生のひたむきな姿と研究に対する熱い情熱が、多くの子どもたちの心を揺さぶる貴重な時間となりました。

授業風景



受講生の感想

- ・プラスチックには、無限の可能性がありました。
- ・プラスチックで病気を治せる日が来てほしいと思いました。クイズでプラスチックの事を深く学びました。
- ・最初は、プラスチックで病気を治すなんてむりだろうと思ったけど、話を聞くうちに出来るかもと思ってきた。
- ・プラスチックが今後どのように人の命を救ったりするのか楽しみです。
- ・プラスチックで病気を治す～！？病気を治すためにプラスチックが使われていることがわかりました。
- ・普段プラスチックのことをあんまり考えたことがなかったから、いろんな種類があったり、様々な改良や開発が進められ、無限の可能性をもったものと分かり、プラスチックの見方が変わりました。
- ・身近にあるもので病気を治すことができるという想像を実現できる力がすごいと思いました。自分も想像したことが実現できるようにしたいです。
- ・プラスチックは最近、他の国で問題になっているけど、プラスチックは病気を治すチカラもあるということがわかりました。
- ・5種類のプラスチックの名前を初めて知りました。
- ・プラスチックは、4種類あることが分かった。また、スマートポリマーは、湯につけるとのびて、再び湯につけると元の形に戻るということがわかりました。
- ・わたしもスマートポリマーについて知れてうれしかったです。スマポレンジャーに会いたいです。スマポであそびたいです。
- ・普段プラスチックのことをあんまり考えたことがなかったから、いろんな種類があったり、様々な改良や開発が進められ、無限の可能性をもったものとわかり、プラスチックの見方が変わりました。
- ・「人が想像できることは、必ず実現できる」という言葉が心に残りました。スマートポリマー、すごい発明品だと思います。